



今年も搗こう！～年末餅つきとミニ正月飾りは 12月15日(日)



今年納めの餅をつく季節がやってきました。長雨、猛暑、台風…今年もいろいろなことがありましたが、いやなことは忘れて、いい年がやってくるように、悪を叩いて封じ込める？餅つき。我が国古来の伝統行事をそれにふさわしい江戸古民家の前で…。

12月15日(日)の年末餅つき会の、餅つき希望者は当日先着順に受け付けます。例年は2個100円の餡子と黄な粉の2色餅が、今年は昨年が続いて茅葺屋根改修完成記念(昨年は主屋、今年は長屋門)で無料です。しかも200人の大盤振る舞い。

そして、いつも通りのミニ正月飾り(先着30人、500円)や年賀状刷り(無料)もちろんあります。長屋門の工事がまだ終了してなくて、フェンスが張られたちょっと狭くなっている前庭なので、いつも通りの場所ではないかもしれませんが、ちゃんとやっています。ぜひお越しください。



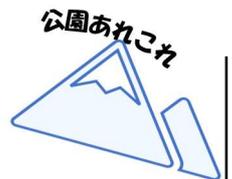
ふじやま茶席2020開催！～来年5月24日(日)に～



ふじやま公園の江戸古民家で、雰囲気たっぷりの茶会が開かれます。東京五輪、パラ五輪の前、初夏のいい季節、5月24日(日)で、お茶席3席と香道、点心席がそれぞれ500円で計3,000円のお茶席券を近く発売します。公園事務所(電話896-0590)で予約を受け付けています。



今年の能舞能管コンサートは今までになく迫力があつた、と好評だった。要因は2つあって、まず舞台の背景となる鏡板の新調。これはボランティア会員が3か月かけて描き上げた労作で、杉の板に画いたような見事な出来映え。演者の方々にもお褒めを頂いたほど。そしてもう1つが能楽師の方が能舞台ではない農家の板の間という場所で、何とか能面(おもて)をつけた演目をという無茶振りを聞いてくださったことだ。能の魅力の片鱗をみせてもらった。…と、さて来年はどう広がるか。今から楽しみだ。



★第8回能舞能管コンサートが大盛況でした

すっかりふじやま公園の秋の風物詩となった第8回能舞・能管コンサートが10月26日古民家主屋で開かれました。熊谷眞知子さんの能舞、根岸啓子さんの能笛などを、抽選で当選した超満員の80人以上が堪能しました。

色々な制約がある中で今年初めて、能面（おもて）をつけた創作能舞「万葉花尽くし」に圧倒されたのをはじめ、「令和の御代替わり」と題したコンサートが大人気でした。



★本郷台駅前の駐輪場で、体験教室の作品展示

日頃工作棟で開いている体験教室の講師、生徒たちの作品が11月2日午後から本郷台駅前の「ぷらっと栄展示スポット」で、展示されました。写真教室は成果を見てもらおうと生徒全員がB4サイズの写真並べたのをはじめ、篆刻、和布細工、フラワーアレンジメント、創作人形…など、各教室とも力作を展示しました。



急須と土瓶

急須と土瓶とも、一般的には茶を淹れるための注ぎ口と蓋の付いた容器です。両者の違いは一般的にその形状の違いによります。急須の形は注口に直角に取っ手がついた形が一般的で、陶磁器製がほとんどですが、土瓶の形は胴の上部に注ぎ口があり、二個のつるを通す耳があり、つるは藤(トウ)などで作られています。使用法では、急須は緑茶をいれるときに用いる茶器(煎茶器)で煎茶や番茶の葉を入れ、湯をさして煎じて茶碗に注ぐ為の器です。土瓶は、火に掛け湯を沸かしたり、薬草を煎じたりするものがあります。

急須は明時代にでき日本には室町時代に渡来した。文化文政時代(1804-30)以後、煎茶の流行と共に発達し、現代に続いています。無釉炆器を主とし、常滑焼、相川焼、万古焼、清水焼のどが知られる。無釉のものは長く愛用する自然にできる艶を愛でます。

土瓶は火かけることを使用形態があり、底部が無釉になっています。土瓶には青色、褐色、緑色の釉薬をかけたものが、幕末以降各地の民窯で作られました。

現代では急須も土瓶も変わり種が生まれました。例えば急須は茶こしを入れたアクミニウム製やアルマイト製のものもあります。土瓶に類似したものとして鉄瓶やヤカン(薬缶)があり、金属製の湯を沸かす道具で、元来は薬を煎じる道具であったことを反映しています。昭和末期から平成時代にかけての魔法瓶や電気ポット、ペットボトル入りの茶製品の普及によって、土瓶の姿が少なくなりました。

古民家では内蔵に鉄瓶タイプが保存され、事務所では陶器製の土瓶(写真)が現役で活躍しています。





ス ス キ (薄 又は 尾 花)

イネ科の植物で、秋になると白っぽい穂をつけ風にそよぐ様は風情がある。ススキの穂を動物の尾に見立てて尾花ということも多い。

かつてはカヤと呼ばれ、茅ぶき屋根の材料ともなり、現在施工中の長屋門の葺き替えにも使われている。

もう 50 年も前に、長髪のフォーク歌手が歌った“旅の宿”の中に、髪に薄の簪を挿した恋人の姿が初々しく描かれていたことが懐かしく思い出されてくる。



《 第 20 回 栄区 民 祭 り に 出 展、ベ ー ベ ー 笛 が 大 好 評 で し た 》



11 月恒例の栄区民祭りが 2 日本郷中校庭で開かれ、本郷ふじやま公園も出展しました。竹炭が用意した 80 袋が全部さばけたほか、子供たちに配ったべえべえ笛（リード笛）も 250 個が時間内に無くなってしまうほどの人気でした。竹炭にいただいたお金は熊本城再建に寄付する予定です。

『 いろり 辺 雑 記 』 から (原 文 の ま ま)

場所が分からなく、再チャレンジでやっと辿り着くことができました。管理人の方に親切にして頂き 大変嬉しかったです。ありがとうございます。とても素敵な所で 又 来たいと思います。古民家が大好きです。

市内 40 代 70 代 家族で



令和元年 12 月 度 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 予 定

部 会 ・ 事 項	日 程	部 会 ・ 事 項	日 程
事務局会議	7 日(土)	古民家歴史部会 部会	8 日(日)
農芸部会 部会	16 日(月)	古文書解読勉強会	1 日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4 日(水)
里山部会 作業	14 日(土) 21 日(土)	クリーンアップ	3 日(火) 17 日(火)
工作棟部会 部会	25 日(水)	広報部会	
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ふじやまだより編集会議	10 日(火)
		印刷	14 日(土)
		ホームページ制作打合せ	22 日(日)

公園ボランティア活動に関心のある方、公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限定員
年末餅つき会	12月15日(日) 10時～12時	古民家前庭で餅つき 搗き たて二色餅を無料で進呈	—	無料進呈 200個
ミニ正月飾り作り	12月15日(日) 10時～12時	①ミニ正月飾り ②年賀版画	①500円 ②無料	①先着30名
初心者茶道体験教室	12月15日(日) 12時30分～15時30分	ご自身で抹茶を点て 飲んでみましょう	500円	12月9日(月) 10名
カメラ教室	12月11日(水) 10時～11時30分	～写してみよう～ 経験者も初心者も大歓迎	無料	11月29日(金) 12名
七草粥と お正月遊び	1月5日(日) 11時30分～13時	正月料理で疲れた胃を 七草粥で癒してください	100円	先着順 150名
里山のそば打塾	1月25日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び、美 味しいそばを打ち、自分で打 ったそばを試食します	900円	1月10日(金) 10名

(1) 応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選 (3) 持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時：11月21日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日先着順 無料

★ 公園散策路を巡るポイントラリー

散策路が台風による倒木多数のため今年中の実施は中止します。

なお、里山を巡る園路は倒木の危険のため立入らないでください

★ 長屋門修繕工事 現在実施中です

期 間：来年1月末まで

工事期間中、長屋門は使用できません。主屋見学・体験教室でご来園の皆さんや事務所へ御用の方は左側通用口からお入りください。

★ 歴史探訪 会員外で参加ご希望の方は前もって事務所へお電話ください。

今後の予定コースと集合地は次の通りです。スタートは9時50分です。

第143回 12月4日(水) 栄区 シンボルリバー「いたち川」を散策

集合場所 栄区役所本館3階5号会議室

令和2年1月は休みます 2月以降は新シリーズが始まります

★ ふじやま公園来園者数 10月来園者数 1,655名 元年度累計 10,308名

・開館時間：9時～17時

・入館料：無料

・休館日：毎月第1水曜日 12月4日(水)
年末年初 12月29日～1月3日

・クリーンアップ：毎月第1, 3火曜日(12月3日, 17日)



本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593